

# 日本民俗学会 第73回年会 横浜

## 第2回 サーキュラー

新型コロナウイルスの感染者数が、高止まりになっています。東京などの緊急事態宣言は解除されましたが、東京オリンピックの開催によって感染状況が悪化する可能性もあります。ワクチン接種が急ピッチに行われておりますが、10月の年会開催の時に新型コロナウイルスの感染状況がどのようになっているか予想がつきにくい状況です。

今年度の年会横浜大会をどのように開催するか、実行委員会では検討を重ねてきました。会場予定の神奈川大学みなとみらいキャンパスでは、ようやく6月17日の緊急対策本部会議で、10月9日・10日の日本民俗学会第73回年会に教室を貸出すことを決定しました。それを受けて、実行委員会では対面開催を決定し、その準備を始めることとしました。

しかし、新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか予想不可能でもありますので、状況によってはZoomによるライブのオンライン開催に移行する事も踏まえて準備をすることになりました。その決定は8月後半までに行う予定です。

どちらの開催方式になっても、10月9日と10日の年会開催を実行できるように努力いたします。対面開催になった場合、あるいはオンライン開催になった場合、発表者の方々には不利益が生じることがあると思いますが、なるべく発表できるようにそれぞれ対応させていただきたいと思っております。これらの情報は、ホームページなどを通じてお知らせしたいと思っておりますので、参加者・発表者の方々には参加費のお振込や発表要旨のご提出など、期日までのお手続きを何卒よろしくお願いいたします。

日本民俗学会第73回年会実行委員会

主 催 一般社団法人日本民俗学会  
協 力 神奈川大学  
期 日 2021年10月9日(土)～10日(日)  
会 場 神奈川大学 みなとみらいキャンパス (横浜市西区みなとみらい4-5-3)  
会場アクセス <https://www.kanagawa-u.ac.jp/access/minatomirai/>

下記のQRコードからもアクセスできます。



### 【年会事務局】

〒220-8739 横浜市西区みなとみらい4-5-3  
神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科 小熊研究室気付  
日本民俗学会第73回年会実行委員会事務局

\*学内での郵便事故に備え、  
上記宛名は省略せずにお書きください。

Tel: 045-664-3710 (代表)

E-mail: [minzokunenkai73@gmail.com](mailto:minzokunenkai73@gmail.com)

\*連絡はなるべく E-mail でお願ひします。

## プログラム

### 10月9日(土)

12:00～	受付開始
13:00～16:00	公開シンポジウム 「海が結ぶ日本と世界—渋沢敬三と日本常民文化研究所」
16:15～17:00	研究奨励賞授賞式

### 10月10日(日)

9:00～	受付開始
9:30～12:00	研究発表(午前)
12:00～13:00	昼食
13:00～16:30	研究発表(午後)

- ※ 評議員会・総会については、年会とは切り離し、10月31日(日)に別会場にて開催する予定です。詳細につきましては、別途ご案内いたします。
- ※ 新型コロナウイルス感染が懸念されますので、懇親会は開催いたしません。
- ※ 今年度の年会は、見学会を企画しておりません。博物館の資料をご利用ください。
- ※ 開始・終了時刻は現時点での予定です。発表プログラムは9月下旬に参加等申込者に送付する予定の第3回サーキュラーでお知らせいたします。

## 参加費

年会参加費	前払い	当日
会員(一般)	4,000円	5,000円
会員(学生)	2,000円	3,000円
非会員(一般)	—	5,000円(当日受付のみ)
非会員(学生)	—	3,000円(当日受付のみ)

- ※ 新型コロナウイルス感染の状況によって、Zoomによるライブのオンライン開催に移行した場合でも、要旨集や業者参画による費用がかかるため、年会参加費は一般会員4,000円、学生会員2,000円とすることになりました。対面開催・オンライン開催いずれでも参加を希望される方は、期日までに上記前払い用参加費をお振込みください。なお、オンライン開催の場合は、改めて連絡しますが、当日受付・非会員受付はできませんのでご了承ください。
- ※ 会場周辺には飲食店・コンビニが多くあります。9日土曜日には、大学内の食堂が開店しておりますので、ご利用ください。
- ※ 前払いの会員「学生」料金は、日本民俗学会の2021年度(2020年9月～2021年8月)会

費を「学生」料金で納めている会員に適用されます。当日の「学生」料金は、会員・非会員を問わず、年会当日、学生証を提示した方に適用します。

## 参加費納入方法

同封の「払込取扱票」に、納入金額等必要事項をご記入のうえ、下記の「ゆうちょ銀行」振替口座にお振り込みください。払込手数料につきましては、恐れ入りますがご負担願います。

**【口座（記号）番号】** 00210-5-109542

**【加入者名】** 日本民俗学会年会実行委員会

※ ゆうちょ以外の金融機関から振り込む場合： 店番号 ○二九 当座預金 0109542

- 万一、同封の「払込取扱票」を紛失された場合は、郵便局の払込用紙（青色）に口座番号と加入者名を書いて払い込んでください。
- 年会参加費等の納入期限は8月27日(金)です。期日にて振込み口座を閉鎖いたします。なお、予定どおり対面で開催された場合は、当日参加も可能ですので、会場にて当日料金をお支払いください。
- 一度納入いただいた参加費等は、いかなる理由があっても返却できません。あしからずご了承ください。
- 期限までに参加費等の納入がなかった場合、名札の事前用意や発表要旨集の取り置きはいたしません。

※ 発表を申し込まれた方が期限までに年会参加費を納入されなかった場合、発表辞退として扱われますので、十分ご注意ください。

## 要旨集

- 年会には参加されないが、要旨集の購入を希望される方は、要旨集の代金1,500円とレターパックライトでの送料370円、合わせて1,870円を8月27日(金)までに納入してください。払込取扱票の通信欄には「要旨集購入希望」と書いてください。年会終了後、要旨集をお送りいたします。
- 要旨集の内容は、年会より前（9月）に年会ウェブサイト上でPDFファイルで公開します。年会終了後も当分の間、掲載を続けます。

## 発表要旨の提出

一般発表、グループ発表に申し込まれた方は、全員が「研究発表要旨」と「研究発表登録票」を年会実行委員会事務局へメールで提出する必要があります。「研究発表要旨」は年会ウェブサイト上にあるひな形のファイルをダウンロードし、下記の執筆要領を参照して作成してください。「研究発表登録票」も年会ウェブサイト上にあるファイルをダウンロードして、必要事項を記入してください。「研究発表要旨」と「研究発表登録票」とを合わせて、以下の形式でお送りください。

※ なお、特別な事情によりメールでの提出が不可能な方は、事務局にご相談ください。

**【送付期限】** 8月16日(月) 24時必着

**【送付先アドレス】** minzoku-nenkai2021youshi@kanagawa-u.ac.jp

(年会実行委員会事務局要旨受付担当)

※ 研究発表要旨と研究発表登録票を受け付ける専用のアドレスで、年会実行委員会事務局のアドレスとは異なります。

**【メール件名】** 発表要旨(発表者氏名)

**【ファイル名】** 要旨(発表者氏名)、登録票(発表者氏名)

**【ファイル形式】** 要旨: PDFファイル 登録票: PDFまたはWordファイル

※ 期限までに発表要旨を提出されなかった場合、発表辞退として扱われます。

※ PDFで提出された要旨はそのまま印刷され、校正はできません。

## 発表要旨執筆要領

**【ファイル形式】** Microsoft Wordファイルで作成し、提出はPDFファイルです。

**【ページ設定】** A4縦長1頁、横書き、43字×38行、余白(上下左右)25mm

**【フォント】** 和文/英数字: 游明朝体

**【フォントサイズ】** 発表題目(副題も): 12pt(太字)、氏名・所属等・本文: 10.5pt

**【発表題目・氏名・所属等】** ページ最上部中央に発表題目を12ptのフォントサイズ、太字で記載してください。副題がある場合は、そのすぐ下に同じく12ptの太字で記載してください。副題を含め、発表題目は「研究発表登録票」記載のものと必ず一致させてください。発表題目の次の行を1行あけてから、発表題目の下中央に10.5ptで氏名を記載し(姓と名の間を1字あけてください)、その右側にかっこ書きで所属等を記載してください(所属等の記載にあたっては、日本民俗学会ホームページ「定款・規定等」の「一般社団法人日本民俗学会会員の属性、帰属意識の多様性の尊重に関する声明」をご参照ください)。

**【要 旨 本 文】** 要旨本文は発表者氏名より1行あけて書き始めてください。フォントサイズは10.5ptです。図表の挿入は可能ですが、写真の挿入はお控えください。なお、出来上りは白黒印刷になります。

- ※ 誤字などの単純なミスについては、発表者に断ることなく、実行委員会で訂正しますので、予めご了承ください。
- ※ 執筆要領の設定に従っていない場合、実行委員会で体裁を調整します。その結果、文字数が1頁を超える時は、そこで機械的に切りますので、文字数の超過には十分ご注意ください。
- ※ 一般発表は発表20分・質疑応答5分・移動5分を1ユニットとします。グループ発表については「グループ発表要旨の提出」を参照してください。
- ※ 発表内容は未発表のものに限ります。重複発表が判明した場合は、参加費の納入の如何にかかわらず、発表をお断りすることとなります。

## グループ発表要旨の提出

グループ発表の代表者は、個別の「研究発表要旨」とは別に、グループ発表全体についての要旨（「グループ発表要旨」）を期日までにご提出ください。書式は「研究発表要旨」と同一です。

**【送 付 期 限】** 8月16日(月) 24時必着

**【送付先アドレス】** minzoku-nenkai2021youshi@kanagawa-u.ac.jp

(年会実行委員会事務局要旨受付担当)

- ※ 研究発表要旨と研究発表登録票を受け付ける専用のアドレスで、年会実行委員会事務局のアドレスとは異なります。

**【メ ー ル 件 名】** グループ発表要旨 (代表者氏名)

**【フ ァ イ ル 名】** グループ発表要旨 (代表者氏名)

**【ファイル形式】** PDFファイル

## 使用機材

備え付けの機材は、PC (Windows) とPC用液晶プロジェクターです。PC (Windows、Mac) の持ち込みも可能です。その場合は、「研究発表登録票」の使用機材欄にその旨をご記入のうえ、PC本体および対応するアダプターをお持ち込みください。発表の形式によっては、備え付けのPCで対応できない場合があります。無線LANは、eduroam) の利用が可能です。また、臨時のWiFi利用も可能で、詳細は会場でお知らせします。

## オンラインのみ参加で発表希望を申し込みたい方へ

発表会場にZoomによってオンライン発表できる環境を設定いたします。この方式で発表希望の方は、8月16日(月)までに必ず事務局に連絡してください。

連絡先：minzokunenikai73@gmail.com

## 保育室の申込み

今年度の年会では神奈川大学みなとみらいキャンパス内に保育室を開設します。保育サービスは外部の業者へ委託します。0歳3ヶ月から小学6年生までのお子様をお預かりいたします。上記年齢以外での希望がありましたら、年会事務局へご相談ください。利用申し込み方法などの詳細は8月上旬に年会ウェブサイトに掲載します。

## 書籍販売の申込み

会場に書籍販売コーナーを設けます。販売を希望される会員・研究会・出版社・団体は、下記の要領でお申し込みください。委託販売はお受けできません。会場の都合で十分なスペースを確保できない場合も予想されます。予めご了承ください。販売は10月9日、10日に限ります。

### 【申し込み方法】

年会ウェブサイト上の「書籍販売登録票」に記入のうえ、8月27日(金)までに年会実行委員会事務局(泉水)宛にPDFまたはWordファイルでお送りください。その際、メールの件名は「書籍販売希望(会員・研究会・出版社・団体名)」としてください。

minzoku-nenkai2021syoseki@kanagawa-u.ac.jp

### 【出展費用について】

- 会員個人 ..... 無料
- 会員の所属する研究会・学会 ..... 無料
- 2021年度(2020年9月～2021年8月)協賛団体 ..... 無料
- 協賛団体ではない出版社・団体の社員が会員である場合 ..... 無料
- 公共団体職員が機関の刊行物を販売する場合  
(職員であることを証明できることが条件) ..... 無料
- 社員が会員でない場合 ..... 販売担当者の人数によらず、出展費用3,000円を申し受けます。受付で当日、お支払いください。

### 【搬入・搬出など】

書籍の搬入・搬出方法など、詳細は「書籍販売登録票」をお送りいただいた後に事務局からお送りする「書籍販売の手引き」でご説明いたしますので、それに従ってください。

## 広告の募集

発表要旨集への広告掲載を希望される方は、8月9日(月)までに年会実行委員会事務局要旨集担当(廣田・内藤)宛にメールで詳細をお問い合わせください(メールの件名は、「広告掲載の問い合わせ」としてください)。年会実行委員会から「広告掲載のお願い」の文書を受けとられた出版社・団体は、このお問い合わせは不要です。

広告担当メールアドレス: minzoku-nenkai2021koukoku@kanagawa-u.ac.jp

## 今後の日程

広告募集期限	8月9日(月)
参加費等納入期限	8月27日(金) ※以降は当日料金
研究発表登録票・発表要旨提出期限	8月16日(月)
書籍販売申し込み期限	8月27日(金) 書籍販売登録票提出
第3回サーキュラー	9月下旬発送予定(参加等申し込みの方のみ) 内容: 会場案内、発表要領、各発表会場プログラム

## 公開シンポジウム

### 「海が結ぶ日本と世界―渋沢敬三と日本常民文化研究所―」

#### 主旨

コロナ禍はいみじくも地球規模で人間存在の有り方をさまざまな方面で再考する機会をわれわれにもたらした。現代社会は情報機器の発達により人々の日常生活の出来事が瞬時に地域を超えて伝わるだけでなく、人の移動もグローバル化し、コロナ世界感染の主要因ともなった。今後、「コロナ禍以前・以後」は人々の社会認識に大きな影響を及ぼすことになる、その中で民俗学の方向性はどうかあるべきであろうか?

維新以来、横浜の地は日本を代表する海外への窓口となってきた。クルーズ船来航に始まるこの度のコロナ禍への対応は、黒船来航による攘夷から開国へ、渋沢栄一の生涯を描く現在放映中の大河ドラマ『青天を衝け』の主題にも重なる。その意を継ぐ栄一の孫、渋沢敬三も早くから海、海外から見た日本を意識し、設立したアチック・ミュージアムの調査・研究活動の一つの眼目にした。経済人でもあった渋沢敬三は二つのミンゾク(民俗・民族)学を多方面から支援し、その同人とともに海民や民具を主な対象とし、絵引きや写真・映像による非文字資料の可視化、博物館建設を通しての学問の公開化など、先達の柳田国男、折口信夫とは別の角度から庶民、常民の学としての民俗学樹立を志向した。その後身の日本常民文化研究所は本年で100周年を迎える。

いずれにしろ、ヒト・モノ・情報が地域を超え、また瞬時に行き交う今日の国際化、情報化社

会において、「郷土研究」に始発した日本民俗学も一国民俗学から柳田国男が念願した「世界民俗学」への視野の拡大が求められる。21世紀の民俗学は地域に暮らす住民同士が、まず自身の「郷土」を知り、国や民族を超え、生活レベルで互いに理解し、孤立ではなく共感、連帯する意識を持つことが前提となる。「世界常民学」の可能性をともに考えてみたい。

日 時 2021年10月9日(土) 13:00～16:00  
会 場 神奈川大学 みなとみらいキャンパス (横浜市西区みなとみらい4-5-3)  
趣旨説明 佐野 賢治 「郷土研究から世界常民学へ」 (神奈川大学・名誉教授)  
総合司会 山本 志乃 (神奈川大学)

#### 【パネリスト】

安室 知 「渋沢敬三の自然観―魚名研究とその学史的意義―」 (神奈川大学)  
藤川美代子 「海に生きる女性―船上生活者と海女―」 (南山大学)  
飯田 卓 「海を越えて続く鉄路―現代に生きる渋沢敬三のフィールドワーク観―」  
(国立民族学博物館)  
加藤 幸治 「自民俗誌の可能性―農漁民の覚醒―」 (武蔵野美術大学)

#### 【コメンテーター】

松田 睦彦 (国立歴史民俗博物館)  
後藤 明 (南山大学)

#### 【総合討論】 司会

山本 志乃 (神奈川大学)  
丸山 泰明 (神奈川大学)